

考えられている。

一日当たりの摂取目安量が1mgと少量であることもメリットだ。

同社では、このほかにも数多くの独自素材を

取り扱っており、今後も

機能性表示対応のラインアップをさらに拡充すべく、研究開発に注力していく考え。

提案。

受託メーカーが自ら作成したSRを活用することで、低コストかつ短期間で自由度の高い製品開発が可能となる。

加えて、使用する原材料や処方設計、剤形などの選択肢も広がるため、原材料等の価格高騰が続く中でもコストダウンを図りやすいことが大きなメリットだ。

健食受託製造企業最大手のAPI(岐阜市、5050・711・3000)は、独自に作成したシステムティックレビュー(SR)を起点に付加価値の高い機能性表示食品の開発をサポートするプロジェクト「API's

SR」を展開している。「API's SR」では、同社が培ってきた知見と技術を生かし、製品コンセプトの立案から原料の選定、文献の収集、処方設計、届出資料の作成に至るまでワンストップでのOEM・ODMを

独自のSRに関して は、すでに複数の届出受理実績を積み重ねているが、近日中には新たに複数製品が届出受理される見通しであり、今後も継続的にラインアップを拡充していく方針だ。

一方、既存のSRを使用した届出だけでなく、顧客の要望に応じてオリジナルのSRを作成することも可能。既存のヘルスクレームをアレンジした届出や新規ヘルスクレームへのチャレンジにも対応している。

なお、機能性表示食品の開発および届出に際しては、専門チームによる

OEM・ODM

独自SRを活用した 自由度の高い製品開発を提案

API

ゲッケイジュ葉

「女性の歯ぐきの健康」で

初の受理

常磐植物化学研究所

顧客への支援サービスを行っており、迅速かつスピーディな対応が高く評価されているという。

同社では、今後も独自の技術と知見を最大限に活用し、市場競争が激化する中でも差別化できる機能性表示食品の開発を提案していく考え。

常磐植物化学研究所(東京都中央区、5003・5200・1251)では機能性表示食品制度に

対応した素材を豊富に取り揃えている。最近では自社オリジナル素材「ローレッシュ(登録商標)」による届出が初め